

# 浅間山の生立ち

浅間山は10万年前から何度も噴火をくりかえしてきた活火山です。



## 歴史時代の主な噴火災害

昔の記録に残っている浅間山の噴火災害のうちとくに被害が大きかったものを紹介します

### 天明の噴火

天明の噴火は、1783(天明3)年5月9日\*に始まってから、噴火したり収まったりを繰り返しながら、次第に活動が大きくなっていきました。7月27日\*頃から噴火が連続するようになり、8月4日から5日\*にかけて、最も激しい噴火が起こりました。(※新編)

発生した現象	火山灰 ・ 噴石 ・ 吾妻火砕流 ・ 鎌原土石なだれ ・ 天明泥流 ・ 沓掛泥流 ・ 鬼押し出し溶岩流
主な被災地域	山麓の鎌原集落 ・ 軽井沢町(当時の軽井沢宿) ・ 吾妻川沿いの地域
死者	・ 1400名以上
倒壊家屋	・ 1000棟以上

### 天仁の噴火

1108(天仁元)年にも、浅間山は大噴火を起こしました。古い時代のことなので天明の噴火ほどの記録は残っていませんが、中御門右大臣藤原宗忠の書いた「中右記」に噴火のときの様子が記されています。

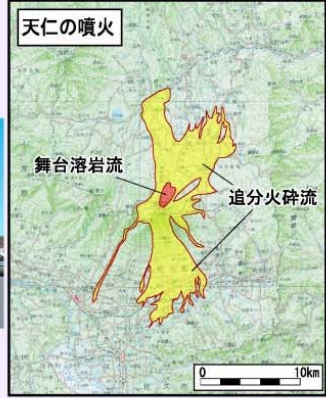
発生した現象	火山灰(前橋で20センチメートル以上の厚さに積もりました) ・ 噴石 ・ 追分火砕流(約80平方キロメートル以上を覆いました) ・ 舞台溶岩流 [火山噴出物の量は天明の噴火の2倍以上]
--------	--



「国内に麻間峯という高山がある。治暦年間に煙を噴いたが、その後しばらく収まっていた。天仁元年七月二十一日に猛然と噴火を始め、煙は天まで登り、砂礫は国内に降りそそぎ、国内の田畑は全滅してしまった。一国の被害でこれほどひどい例は未だかつてない。稀な不思議の事件なので記し置くものである。」  
十旧暦 「中右記」の現代語訳

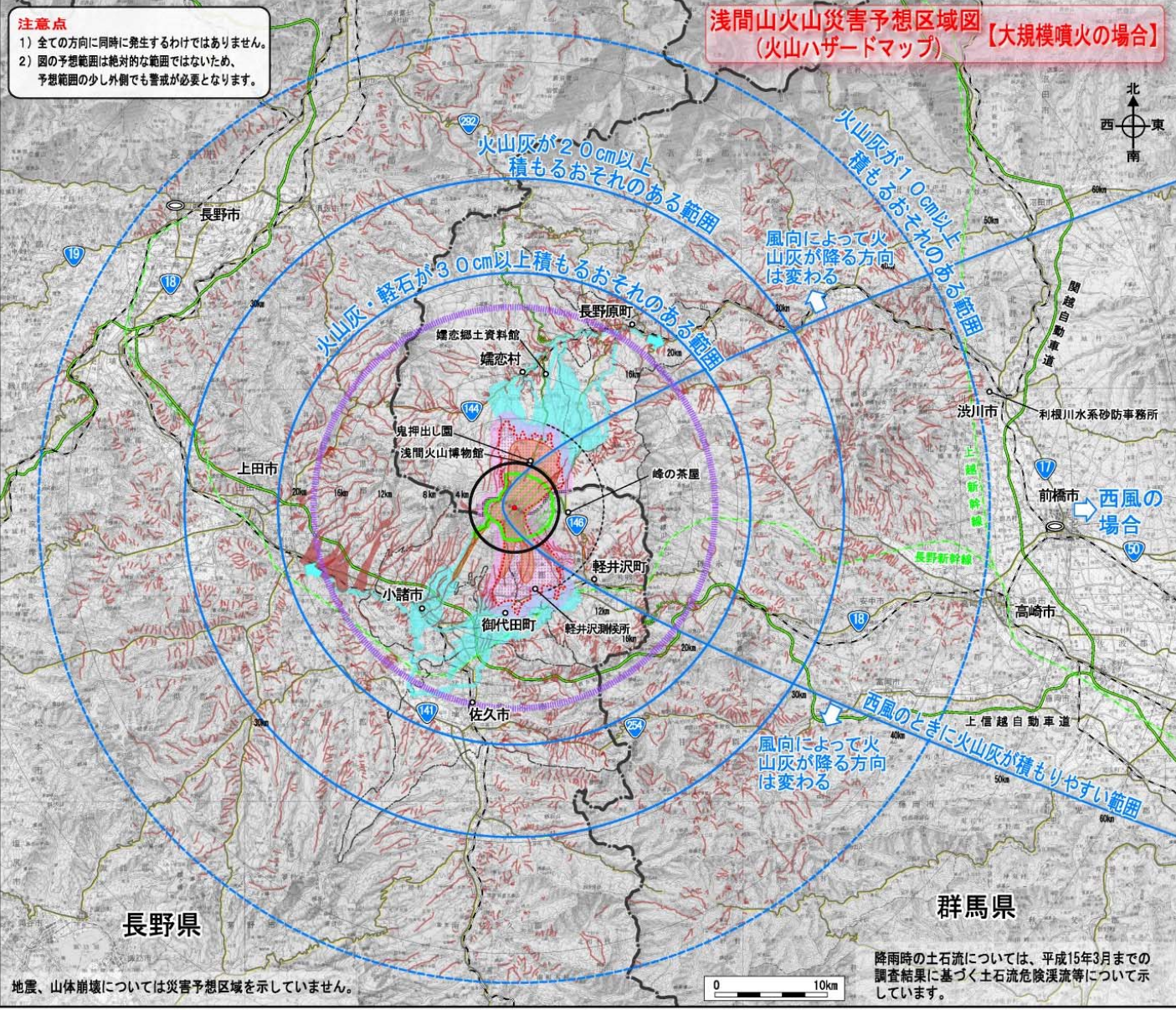


天明泥流の流下範囲  
1783(天明3)年の噴火で発生した泥流の流下範囲を示しています。  
天明泥流が発生の原因になった「鎌原土石なだれ」の流下範囲を示しています。

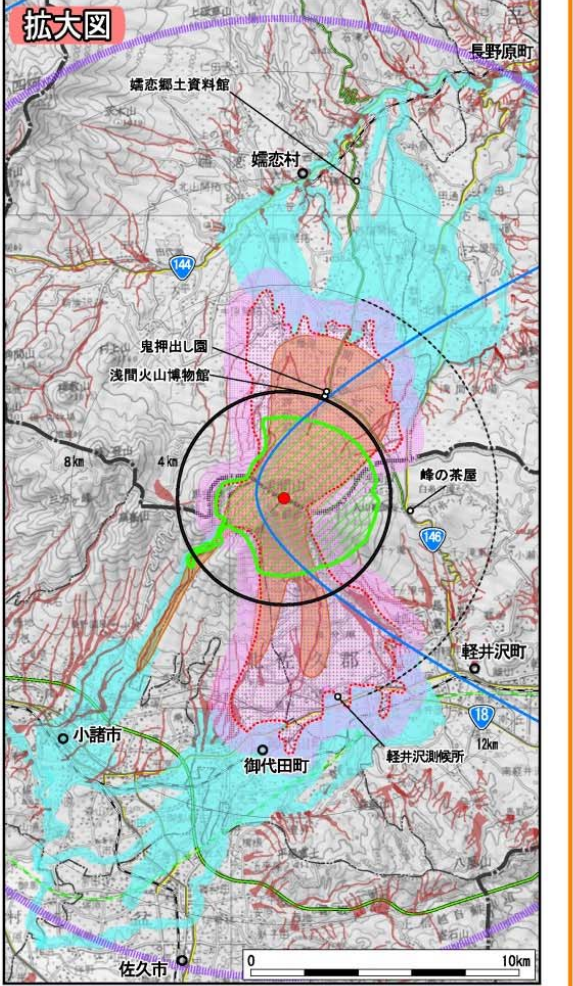


## もしも天明の噴火のような大噴火がおきたら...

浅間山は過去2千年間に3回の大噴火を起こしました。たくさんの被害を出した「天明の噴火」もそのうちの一つにあたります。



この欄に示す2枚の予想図は、天明の噴火と同じような大規模な噴火が、浅間山の山頂火口から北側(群馬県側)あるいは南側(長野県側)に向かって発生した場合の災害予想区域を示しています。



浅間山では、天明の噴火よりも大きな規模の噴火が起こることもあります。例えば、天仁の噴火は天明の噴火の2倍以上の規模でした。もしも、天仁の噴火のような大規模な噴火が起きた場合には、左の図に示したよりもさらに広い範囲に火砕流や融雪型火山泥流の被害がおよぶと予想されます。

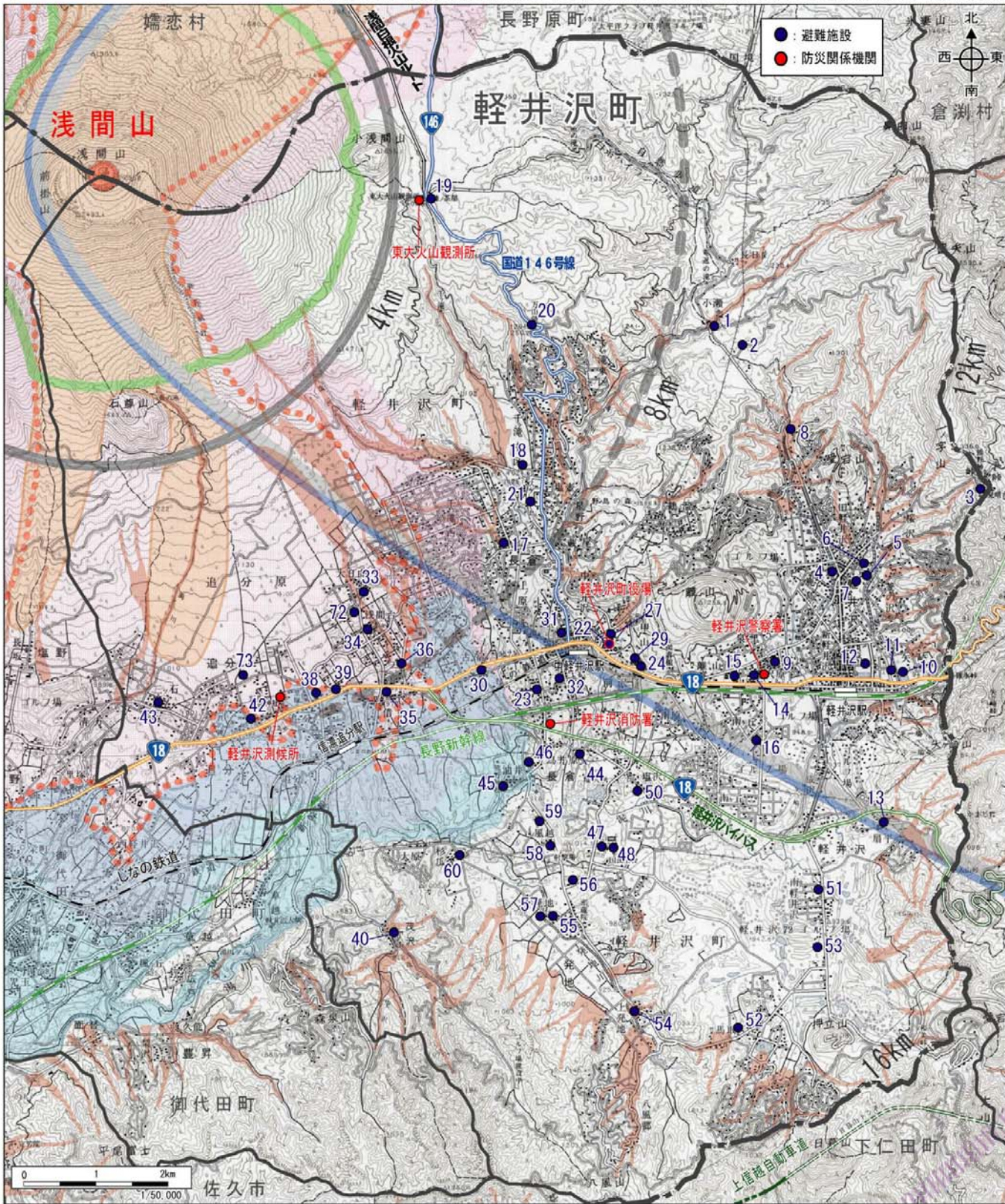
記号の色と意味	想定火口	火山ガス	噴石	空振	火山灰(降灰)	降雨時の土石流	火砕流と熱風	融雪型火山泥流	溶岩流
	浅間山の山頂火口を想定しています。	高濃度のガスが溜まりやすい予想範囲です。	実線: こぶしより大きい噴石が飛んでくる予想範囲です(半径4km)。破線: 風下側で小石が飛んでくる予想範囲です(半径8km)。	空振による被害を受ける予想範囲です(半径18km)。	火山灰が積もる予想範囲です。大規模噴火の時には軽石も混ざって降ります。	降雨時の土石流の流下予想範囲です。	火砕流と熱風の流下予想範囲です。	積雪期の融雪型火山泥流の流下予想範囲です。	溶岩流の流下予想範囲です。



# 避難施設

避難の際には、町役場からの指示に従って行動してください。避難が必要になった時には、防災行政無線やラジオ(FM軽井沢)などで町役場から噴火の被害を受けにくい避難施設が指定されます。

下に示した噴火の影響範囲は、天明の噴火と同規模の噴火が発生したときの予想範囲です。なお、これよりも大規模な噴火が起きた場合には、さらに広い範囲に影響が及ぶと予想されます。



## 避難に関する問い合わせ先

軽井沢町役場 電話0267-45-8111

## 地区別の避難施設一覧

地区	番号	施設名	所在地	電話(0267)
小瀬・長日向	1	レクの森避難小屋 レクの森キャンプ場	長倉国有林129る	42-6564
	2	小瀬避難小屋	長倉国有林129る	-
峠町・旧軽井沢	3	見晴台避難小屋 見晴台	峠町41-3	-
	4	旧軽井沢駐車場 旧軽井沢公民館	軽井沢207-1	42-3107
	5	旧軽井沢公民館 諏訪の森	軽井沢878-1	42-2981
	6	軽井沢観光会館	軽井沢739	42-5538
	7	旧軽井沢児童館 旧軽井沢児童館庭	軽井沢864	42-4742
	8	三笠避難小屋	西山国有林138い	-
	9	軽井沢東部小学校	軽井沢1249	42-2684
	10	新軽井沢児童館 新軽井沢児童館庭	軽井沢東41-2	42-3809
新軽井沢・成沢	11	軽井沢東保育園	軽井沢東41-2	42-3808
	12	矢ヶ崎公園管理棟 矢ヶ崎公園	軽井沢東29-1	42-3324
	13	成沢地区コミュニティセンター	軽井沢1019-211	48-0027
麓山・南ヶ丘	14	軽井沢高等学校 軽井沢高等学校グラウンド	軽井沢1323-43	42-2390
	15	麓山地区コミュニティセンター	長倉1994	42-5963
	16	南ヶ丘公民館	軽井沢1052-779	42-6227
千ヶ滝中區・西區・星野・塩壺	17	千ヶ滝西區公民館	長倉2139-742	46-1062
	18	千ヶ滝中區公民館	長倉2140-99	-
	19	峰の茶屋避難小屋	長倉国有林83ち	-
	20	万山望避難小屋	長倉国有林86い	-
	21	軽井沢スケートセンター	長倉2140	46-1111
中軽井沢・古宿	22	軽井沢町役場	長倉2381-1	45-8111
	23	軽井沢中部小学校	長倉3734	45-5189
	24	軽井沢中学校	長倉2454	45-6180
	27	軽井沢町中央公民館	長倉2353-1	45-8446
	29	軽井沢町社会体育館	長倉2447-1	45-7772
	30	古宿地区コミュニティセンター	長倉4430-1	46-0454
	31	中軽井沢区民会館	中軽井沢17-1	45-6049
	32	中軽井沢南児童館 中軽井沢南児童館庭	長倉2859-3	45-0990
	33	大日向公民館	長倉5688-1	45-5550
	34	浅間台団地集会所	長倉5327-1	-
大日向・浅間台	72	大日向運動場	長倉5538-1	-
	73	旧軽井沢競馬場跡地	長倉5456	-
	35	借宿公民館	長倉4634-1	45-6322
	36	西區コミュニティセンター	長倉5426-1	45-1960
借宿・つくしヶ丘・茂沢	38	軽井沢西部小学校	長倉1136	45-1052
	39	軽井沢西保育園	通分1341-78	45-1984
	40	茂沢公民館	茂沢660-1	45-1882
	42	通分公民館	通分523	46-2929
通分・三ツ石	43	三ツ石公民館 三ツ石公民館庭	通分1676	-
	44	鳥井原公民館	長倉1778-1	46-1077
油井・鳥井原・塩壺	45	油井公民館	長倉1389-2	46-2986
	46	長倉地区児童館 長倉地区児童館庭	長倉1629-11	46-2187
	47	軽井沢風越公園アリーナ	長倉182-3	48-3626
	48	勤労者体育センター	発地1157-6	48-3433
	50	塩壺公民館	長倉524	46-4515
南軽井沢・馬取・ニュータウン	51	南軽井沢公民館	長倉1398-236	48-1913
	52	馬取公民館 馬取公民館庭	発地588-1	48-2848
	53	軽井沢72ゴルフ場 軽井沢72ゴルフ場	発地1399-35 発地1399	48-1211 -
上発地・下発地・杉瓜・風越団地	54	上発地公民館	発地1752	-
	55	下発地公民館	発地2300	48-1910
	56	軽井沢南保育園 軽井沢南保育園庭	発地2560-1	45-6516
	57	南地区児童館	発地2300	48-1231
	58	風越団地公民館	発地1150-1	-
59	佐久浅間農協野菜出荷センター	長倉957	45-7135	
60	杉瓜公民館	発地2834	45-6326	

登山規制については、軽井沢町のホームページをご覧ください。  
『くらしの情報』-『いざというとき』-『地震・火山対策』-『浅間山噴火対策』  
<http://www.town.karuizawa.nagano.jp/index.html>

記号の色と意味

- 想定火口**: 浅間山の山頂火口を想定しています。
- 火山ガス**: 高温のガスが溜まりやすい予想範囲です。
- 噴石**: 噴石が飛んでくる予想範囲です(半径4km)。破砕: 風下側で小石が飛んでくる予想範囲です(半径8km)。
- 空振**: 空振による被害を受ける予想範囲です。(半径18km)
- 火山灰(降灰)**: 火山灰が積もる予想範囲です。大規模噴火では軽石も混ざって降ります。
- 降雨時の土石流**: 降雨時の土石流の流下予想範囲です。
- 火砕流と熱風**: 火砕流と熱風の流下予想範囲です。
- 融雪型火山泥流**: 積雪期の融雪型火山泥流の流下予想範囲です。
- 溶岩流**: 溶岩流の流下予想範囲です。

## 普段から災害に備えて

浅間山ではどのような噴火災害が考えられるのかこの「浅間山火山防災マップ」で知っておきましょう。

普段から非常持ち出し品を備えておきましょう。

地震に備えて家具の固定や壁の補強をしておきましょう。

## 避難する場合は...

- あわてず落ち着いて行動する。
- 戸締り、電気、ガスの元栓を確認する。
- 貴重品を忘れずに持つ。
- 市街地では車を必ず歩いで避難する。
- お年寄り、赤ちゃん、身体の不自由な人、外国人などの避難を助けましょう。

**避難の格好**

- ヘルメット
- ゴーグル
- マスク
- 手ぶくろ
- リュックサック
- 長袖の上着
- 長ズボン
- 運動くつ

## もし噴火がはじまったら?

気象庁が発表する「火山情報」に注意しましょう。

町長から避難勧告などの指示があった場合には従いましょう。

臨時火山情報がでたら、その後のニュースや役場の情報に注意しましょう。

緊急火山情報がでたら、いつでも避難できる準備をしましょう。

## 災害用伝言ダイヤル(171)

避難時の安否情報の確認には、NTTの「災害用伝言ダイヤル」が便利です。

局番なしで171にかける。自動アナウンスにしたがって簡単に自分のメッセージを録音し、知人の安否情報を再生できます。

## 防災関係機関連絡先

関係機関名	電話
役場 軽井沢町役場	0267-45-8111
消防 軽井沢消防署	0267-45-8171
警察 軽井沢警察署	0267-42-0110
気象庁 軽井沢測候所	0267-45-1304
火山観測 東京大学 浅間山観測所	0267-45-7551
軽井沢町役場 水道課	0267-45-8657
ライフライン 中部電力 軽井沢サービスステーション	0267-42-2113
NTT東日本 長野支店(災害対策室)	026-225-4361
長野県 佐久地方事務所	0267-63-3111(代表)
長野県 佐久建設事務所	-
国土交通省 利根川水系砂防事務所	0279-22-4177(代表)
財団法人 砂防・地すべり技術センター	03-5276-3272

## 避難のときの持ち出し品

噴火が長引くと、避難先で何日も暮らすことも考えられます。大切なものはすぐに持ち出せるよう、心がけておきましょう。

**特に火山噴火の時に必要となるもの**

- ヘルメット(防災ずきん) → 噴石や落下物から頭を守る。
- マスク → 細かい火山灰を吸い込むのを防ぐ。
- ゴーグル → 細かい火山灰から目を守る。

**主な持ち出し品リスト**

必要なものにしをつけて、普段から備えておきましょう。

- 着替え、下着類
- 洗面用具、衛生用品
- 手ぶくろ・軍手
- かさ、カップ
- リュックサック
- 毛布・タオル
- 非常食、嗜好品
- 懐中電灯と電池
- 携帯ラジオ、テレビ、電池
- 常備薬、救急箱
- 現金、小銭
- シート、ビニール袋
- ガムテープ(粘着テープ)
- (腕)時計
- 通帳、カード、印鑑、証券など
- 健康保険証
- 携帯電話(充電器など)
- ライター
- ちり紙、ティッシュペーパー
- 母乳ビン、ミルク、おむつ、母子手帳(赤ちゃんがいる場合)
- お年寄り用常備薬など(お年寄りがいる場合)
- その他個人的な貴重品

位牌や大切なアルバム、子供のメガネ、パソコンの重要なデータ、仕事の許可証など